

富山市・マレ市都市間連携による持続可能な環境配慮型都市（スマートシティ）構築支援事業

- 2019年11月に富山市で開催された都市間連携事業に関する研修への参加をきっかけに、SDGs未来都市である富山市に支援を要請
- 富山市のコンパクトシティ政策や環境技術の導入により、**交通、燃料転換、再エネ、有機性廃棄物循環利用**の4分野について、島嶼地域における持続可能な環境配慮型都市の実現への貢献を目指す。



モルディブ共和国 マレ市

- 人口過密、気候変動への脆弱性
- 2030年CN宣言
- 土地制約により再エネ普及が進まずディーゼルに依存
- 廃棄物の不十分な管理



富山市

- SDGs未来都市
- ゼロカーボンシティ表明
- コンパクトシティ政策
- 富山市エコタウン等、高い環境技術



富山市・マレ市都市間連携による持続可能な環境配慮型都市（スマートシティ）構築支援事業

体制図



事業活動

- 現地とのWeb会議 10回
- 現地調査 1回 (10/1~10/12)
- 駐日モルディブ大使館訪問
- 在モルディブ日本国大使面談

成果

公共交通分野

- SATREPS事業提案体制構築
- EVバス導入事業との連携検討

燃料転換分野

- 自律分散型再エネ由来水素の導入検討
- 水素技術導入検討

再エネ普及分野

- 再エネ+インフラのソリューション提案
- リゾート島、水産加工工場でのJCM提案準備

有機性廃棄物循環利用分野

- 廃棄物管理課題の把握とソリューション提案
- サーキュラーエコノミー実現に向けた検討への関心表明受領

現地調査の様子

